

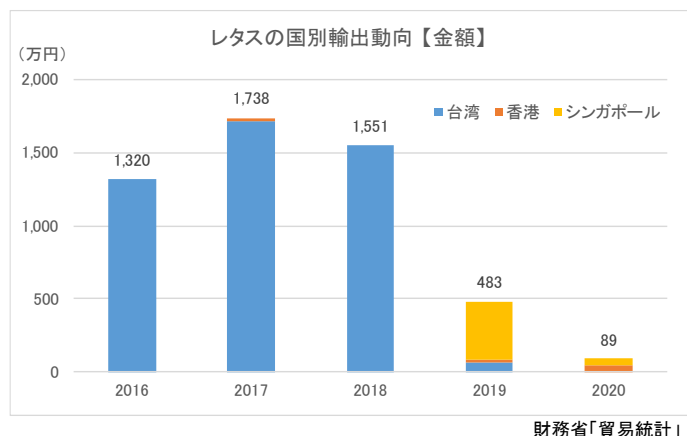
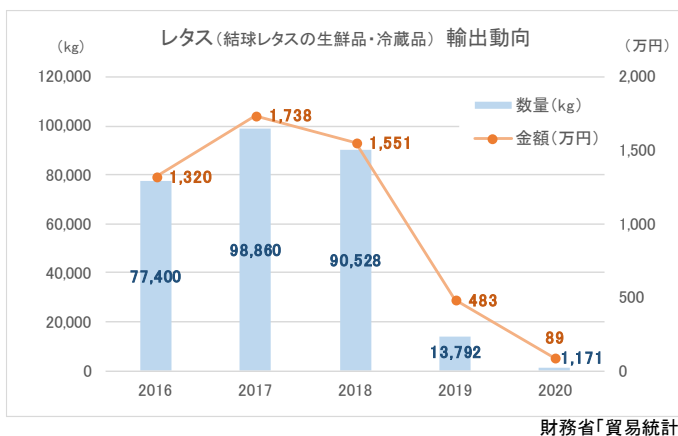
輸出事業計画

申請者名：大平やさい株式会社 品目：野菜（レタス類、玉ねぎ）

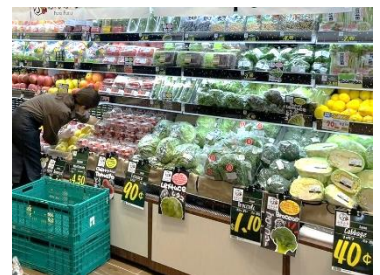
1. 輸出における現状と課題

人口減少社会の到来による国内市場の縮小を見据え、新たに輸出に活力を見出す必要があるものの、レタスの輸出動向を見ると、2019年に台湾向け輸出が激減し、シンガポール向けへのシフトが進んだものの、新型コロナの影響で2020年にはほぼ消失している。

当社はこれまでアイスバーグレタス及びロメインレタスを主力に、JAへの系統出荷に加えて、アイスバーグレタスのオリジナルロゴを商標登録するなど、自社商品のブランディングにも注力し、外資系スーパー、大手コンビニチェーン、百貨店、関西圏スーパーなどに国内販路を拡大してきた一方、2021年6月にはGLOBAL G.A.P.を取得し、輸出着手に向けた準備を整えてきた。このたびオンライン商談がまとまり、2021年11月から2022年5月までのシーズンを通して、シンガポール向けの契約につながった。今後も輸出を継続的かつ安定的に行うため、現地インポーターが求める棚持ちの良さや納品ロットの増加への対応が課題となっている。



現地インポーターによる訪問



シンガポール小売店での店頭販売

2. 輸出事業計画の取組内容

(1) 輸出先国の規制に対応した商品の生産

- 効果面・コスト面で最適な防除暦の検討
- 農薬ドリフトへの対応

(2) 他産地との差別化を図るオリジナリティの訴求

- HPとリーフレットの多言語化
- パッケージの作成

(3) 品質保持とコストカット

- 品種の検討及び移行
- 梱包資材の検討・作成
- 冷蔵施設の整備

(4) 新たな需要の開拓

- 作型の検討
- 輸出先の開拓
- 生食需要の把握とロメインレタスの可能性探索

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標額

項目	現 状 【2020 (R2) 年度】	目 標 年 度 【2031 (R13) 年度】
輸出額 (千円)	—	22,176
輸出量 (kg)	—	49,500
輸出先国	—	シンガポール・台湾・香港
生産量 (t)	736	884